

令和5年度 学校評価報告

長崎市立大園小学校

1 教育目標

「できた！」～未来を描き 夢を磨く～

2 学校経営方針

教育愛と創造性にあふれ、地域とともに「未来を創る人の夢を育む」学校づくり

2023WBCワールドカップでの日本代表の活躍は、世界中の共通の人に希望と感動を与えました。夢を抱き、そのための実践目標を掲げ、個々にチームのためにできることを考え、真摯に取り組むことの大切さを教えてくれました。「決してあきらめないこと」「仲間を信じること」等々、多くの教訓を子どもたちに背中ですべて示してくれたと思います。

子どもたち一人ひとりには「今よりもっとよくなりたい！できることをたくさん増やしたい！」という願いを心に抱いています。保護者は自分の子どもの健やかな成長を願い、地域の方々も未来を担う子どもの健全な育成を求めています。私たちは、保護者や地域の要請を受け、教育の不易と流行のそれぞれの価値を見極めつつ、子どもと向き合い、子どもに寄り添いながら、個々の可能性を見出し、いかなければなりません。一人ひとりの「できた！」と学級集団の「できた！」をしっかりと体感させ、達成感・満足感・充実感、そして自己有用感を認知させる教育実践を積み重ねていくことが子どもの未来を拓く確かな道であると思います。子どもたちが数年後・数十年後の未来を描き（イメージし）自分のよさを生かしながら、自分の夢を磨き・育んでいくことができる大園小学校の実践を目指していきたいと思ひます。

「一人はみんなのために みんなは一人のために」お互いが認め合い、尊敬し合う中で、共に切磋琢磨する大人の姿を子どもたちに見せていきましょう。子どもを中心に、保護者・地域の方々とは子育てを語り合える大人の環境をつくっていきましょう。子どもたちに憧れを抱かせる大人となるようコミュニケーションをしっかりと図りながら、笑顔溢れる大園小学校としていきましょう。子どもたちの成長に感動と感謝ができる一年となるようみなさんの力を結集させましょう。

3 重点目標

- ① 個に応じた指導・支援の在り方を追究し、人権感覚を磨き自尊感情を高め、いじめや差別のない社会の実現を目指す子どもの育成に取り組む。
- ② 「凡事徹底」を自覚させ、月生活目標を意識させる指導を全職員で取り組む。
- ③ 社会の中の一員である意識を高める中で、誰もが気持ちの良い言葉遣いや「さん」付けの呼名など社会性の向上に取り組む。
- ④ 自分の夢を言葉で表現し、実現に向けた具体的な努力項目を立て、ねばり強く取り組ませるための具体的な方策を工夫する。
- ⑤ 思考の見える化を図るなど具体的な手立てを工夫したり、クロームブックの機能を活用したりすることで、共に学ぶ楽しさ・見つける喜びを実感させる。
- ⑥ 教育相談体制を整備し、家庭との連携に努め、保護者との信頼関係と協働意識を高めていく。
- ⑦ 「継承」「発信」「創造」の本市平和教育の具現化を図る。
- ⑧ 地域団体・施設との連携を深め、その活用を図る。

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	96	95	92	どの項目も昨年度よりも良い結果となった。学校の雰囲気が明るく楽しいと答えた児童、保護者は昨年度を5ポイント程度上回っている。業務改善については日課の変更など工夫している。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	95	97	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			96	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			92	
心	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	86	89	44	ルールやマナーを身に付けていると答えた児童や保護者はほぼ9割に達している。学校では、2学期に「はさみ歩き」、3学期に「挨拶」について重点的に指導を行った。また、3学期には始業式
		挨拶をよくしている	93	82	72	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	87	86	72	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	92	95	100	

の教育	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	85	89	96	の校長講話の中で「あ・は・は運動」について改めて確認した。しかし、挨拶については昨年よりも下回った。今後も粘り強く気持ちの良い挨拶ができるように指導を続けていく。
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	95	91	72	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	95	89	76	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	91	88	96	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	91	91	100	分かりやすい授業を行っていると答えた児童や保護者は9割以上で、保護者については昨年度よりも4ポイント上回った。教師一人一人の日頃の努力の成果である。家庭学習の習慣については評価が低い。今後も呼びかけていく。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	93	96	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	89	80	71	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	92	88	92	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		95				

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	95	89	100	早寝・早起き・朝ごはんについては昨年度の評価を上回った。しかし、教職員の評価はポイントが低い。毎日のように遅刻をする児童が多く、その中には朝食を食べてない子どももいる。個別に保護者に改善を求めていく必要がある。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	84	90	64	
		体力向上に努めている	93	89	92	
	食育	食に関する教育活動を行っている	94	89	92	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	97	95	96	安全管理については昨年度の保護者の評価を7ポイント上回っている。地域との連携が取れていることについても昨年度よりも高評価となっていることから、交通安全指導員をはじめ地域の方と協力して安全指導を行って得られた結果である。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	83	87	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	92	94	96	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			92	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	97	89	96	庁務員をはじめとする教職員の献身的な取り組みにより教育環境が整備できている。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			96	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

全体的に高評価が多い。特に学校経営についての数値が高い。本校が掲げる教育目標の「できた!」を子供たちが実感できており、保護者も子供の姿から「できた!」を積み重ねていることを実感している結果であると思う。また、教職員については、すべての教育活動で子どもたちが「できた!」を自覚できるように、日々、ゴールの姿をイメージしながら授業等を行っている結果であると考え。しかし、児童がルールを守ることや家庭学習を習慣にすることについては、特に職員の評価は低い。ルールを守ることができている児童が大半であるにもかかわらず、このような評価になってしまうのは、教職員の、将来社会の中で生きていく児童たちにルールやマナーをすべての子どもに身につけさせなければならないという思いがあるからだと考える。本年度は、2学期に「はさみ歩き」3学期に「あいさつ」を重点的に取り組むべく、学期初めの校長講話の中で話をした。子供たちの意識が高まり、ポスターや「あいさつ名人」など学級での取組が広がった。今後も、児童に規範意識を高めるような指導が必要である。

6 学校関係者評価

ほぼ毎日子供たちの交通安全について見守りを行っているが、特に下校では飛び出す子どもが多い。下校の見守りが必要であると考え。また、子どもたちには、大人に定時退庁日があるように、宿題がない日があってもよいのではないかと。学校評議員会の日に1年生との交流給食があったが、とてもよくマナーを守って静かに食べていたが、自分にとっては異常に感じた。もう少し、のびのびとさせてもよいのではないかと。先生方が特別な配慮を必要な子どもへの対応をよくしていただいていると思う。協力できることがあれば、地域のほうでも支えていきたい。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

学校関係者の評価を受け、地域の方の力を借りるために、学校サポーターとして学習支援や下校の見守りをしていただけることになった。地域の方とともに子ども達を育てることにより、ルールやマナーを身に着けることができるのではないかと。それは、学校目標の「地域とともに『未来を創る人の夢を育む』学校づくり」につながることである。

学校運営に関する御意見御感想について

○いじめについて	本校では「大園小学校いじめ防止基本方針」をもとに、いじめ防止、早期発見に努めているところです。具体的には、定期的なアンケート調査、それをもとにした個人面談等です。普段から何でも話せる学級づくりを目指しております。また、いじめにつながるような行動については、毅然とした態度で指導を続けていきます。
----------	---

○給食について	給食について混入物等ありましたら、すぐに教育委員会と北部給食センターへ連絡をし、迅速な対応ができるように努めているところです。「みかんが腐っていてその代わりもなかった。」ことについては大変申し訳なかったと思います。今後このようなことがないように、給食センターとも連携しながら対応してまいります。
○防犯対策、不審者情報について	不審者情報について十分に連絡ができていなかったことについてお詫び申し上げます。今後は、遺漏のないようにいたします。防犯対策として、GPSを持たせる予定はございませんが、防犯ブザーを全員が身につけるように保護者の皆様の御協力をいただいているところです。もしも防犯ブザーをお持ちでない場合は、学校からお渡しすることができますのでお声掛けください。
○内科健診について	内科健診の際、上半身は脱いで検診しているのは側彎症(そくわんしょう)について異状がないかを診ています。しかし、御意見にもあるように子供たちの気持ちに配慮し、現在、脱がずにできないか学校医と検討中です。
○あいさつについて	3学期始業式の校長講話の中で「あはは運動」について話しました。3学期は中でも「あいさつ」を頑張ろうと語りました。中にはあいさつの啓発をするポスターを作ったり、あいさつ名人になる取り組みをする学級もあります。今後も粘り強く指導を続けてまいります。御家庭でも御指導くださるようお願い申し上げます。
○学習に集中できない	地域の方の御協力により、現在2名の学校サポーターさんが学習支援として教室に入らせていただいております。その他にも校長室や職員室で個別指導をしたり、管理職等が教室に入って支援を行うこともあります。今後も子供たちの学びが保証されるよう務めてまいります。
○教育的ニーズとは？	学校は子供の力を発揮する場でもあります。その力を十分に発揮するためには、特別な配慮が必要であったり、その子に合った学びの場を検討したりすることがあります。つまり、教育的ニーズとは、子供が自分の持てる力を十分に発揮できるような指導・支援のことです。
○新日課について	新日課については、学校評価だけでなく、tetoruや学級懇談会の場でもたくさんの御意見をいただき、先日tetoruでお答えを配信させていただきました。その中で、放課後の子供の居場所として、滑石ふれあいセンターの図書室も利用できるようになりました。職員も時間をかけ、検討いたしました。御理解と御協力をお願いいたします。